

⑩ 鎌倉淡青坐禅会活動状況報告

幹事 瀧川謙司 齊藤達二

(1) 開催要領

- 1) 開催日時 毎月第1及び3水曜日 9:00 ~ 11:00。但し、1月の第1水曜日は休会。
- 2) 開催場所 円覚寺の「居士林」。
- 3) 日 課 身体を柔らかくして正しく坐り易くする体操(チベット体操)、止静2炷(しゅ)、誦教(般若心経、白隠禅師坐禅和讃、延命十句観音経、延命十句観音和讃、四弘誓願文)。
- 4) 提 唱 「臨濟録提唱」円覚寺管長 横田南嶺老大師。主に第1水曜日、時に第3水曜日。
- 5) 直日(坐禅指導) 黄梅院副住職 内田一道 師(円覚寺・居士林主事)。
- 6) 開催趣旨 坐禅道場の静寂の中で、心身を放下してゆったりと無字の呼吸で天地と一体になり坐ります。春に百花あり、秋に月あり、夏に涼風あり、冬に雪あり。貴方が主人公です。眼の鱗が落ち、耳の栓が外れ、今まで見えなかった風景に気付くかも知れません。其処まで行かなくとも、一寸坐れば一寸の仏、一尺坐れば一尺の仏、力耕不吾欺です。そして、日本文化、鎌倉文化の底流をなす禅の奥深さの一端に触れ、言葉で論う次元を去り、眼に見えない深いものに気付くかも知れません。兀然無事坐 春來草自生。
- 7) その他 会費は約500円/回。坐禅会発足日は2006年9月6日。
ご関心がありましたら、先ずはお気軽においで下さるようお願い申し上げます。
「坐って良かった、また、坐りたい」と思う坐禅会が願いです。
連絡先は瀧川(TEL/FAX 046-875-9069 (E-mail: takigawa@wg8.so-net.ne.jp))。

(2) 開催結果と今後の計画 結果=下掲表。懇親会2回。計画=定例開催。

開催回	開催日	臨濟録提唱	参加者	直日	助香	魚鱗子	聖侍
第194回	27/06/03(水)	如常(何時ものとおりの意味)	17名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第195回	27/06/17(水)	示衆十「如諸方学人來、山僧…」	19名	一道	齊藤	吉田	神戸
第196回	27/07/01(水)	示衆十「大徳、爾擔鉢囊屎擔…」	20名	一道	齊藤	吉田	神戸
第197回	27/07/15(水)	如常	15名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第198回	27/08/05(水)	示衆十「道流、山僧佛法、的…」	20名	一道	齊藤	吉田	神戸
第199回	27/08/19(水)	如常	17名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第200回	27/09/02(水)	示衆十「如山僧今日用處、眞…」	19名	一道	齊藤	吉田	神戸
第201回	27/09/16(水)	如常	17名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第202回	27/10/07(水)	如常	16名	一道	齊藤	吉田	神戸
第203回	27/10/21(水)	示衆十「今時學人不得、蓋…」	16名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第204回	27/11/04(水)	示衆十一「問、如何是眞佛、…」	20名	一道	齊藤	吉田	神戸
第205回	27/11/18(水)	如常	15名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第206回	27/12/02(水)	如常	14名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第207回	27/12/16(水)	示衆十二「問、如何是西來意…」	18名	一道	齊藤	吉田	神戸
—	28/01/06(水)	休会(松の内)	—	—	—	—	—
第208回	28/01/20(水)	臨濟録(僧堂・宿龍殿)	14名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第209回	28/02/03(水)	示衆十二「祇如諸方說六度…」	17名	一道	齊藤	吉田	神戸
第210回	28/02/17(水)	如常	14名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第211回	28/03/02(水)	示衆十三「問、大通智勝佛、…」	20名	一道	齊藤	吉田	神戸
第212回	28/03/16(水)	如常	10名	一道	齊藤	齊藤	多田
第213回	28/04/06(水)	示衆十四「問、如何是五無間…」	15名	一道	齊藤	齊藤	神戸
第214回	28/04/20(水)	如常	11名	一道	吉田	吉田	神戸
第215回	28/05/04(水)	示衆十四「爾一念心、祇向空…」	16名	一道	齊藤	吉田	神戸
第216回	28/05/18(水)	如常	14名	充徳	齊藤	齊藤	神戸

(注1) 臨濟録提唱は2012.8.1開始。臨濟禅は活殺自在な宗風の故に臨濟將軍とまで称されます。「提唱」=「ブラさげて見せる」という意味。単なる説明ではなく、講本の文字文章や老師の言葉の内面的な含蓄を味得し、ウーンと合点する筋合いのもので、禅の醍醐味の一つです。なお、無門関提唱は2007.8.1開始、2012.7.4講了。「無門関」=禅問答の代表的な講本(テキスト)の一つ。

(注2) 直日(じきじつ)=坐禅の指導役、助香(じょこう)=直日の補佐役、魚鱗子(ぎょりんす)=木魚を打つ、聖侍(しょうじ)=禅堂に祀られている文殊菩薩の世話係。また堂内大衆の世話係=侍者(じしゃ)。敬称略。(注3)第208回は僧堂の大撰心中に宿龍殿で雲水達と共に臨濟録提唱を拝聴。